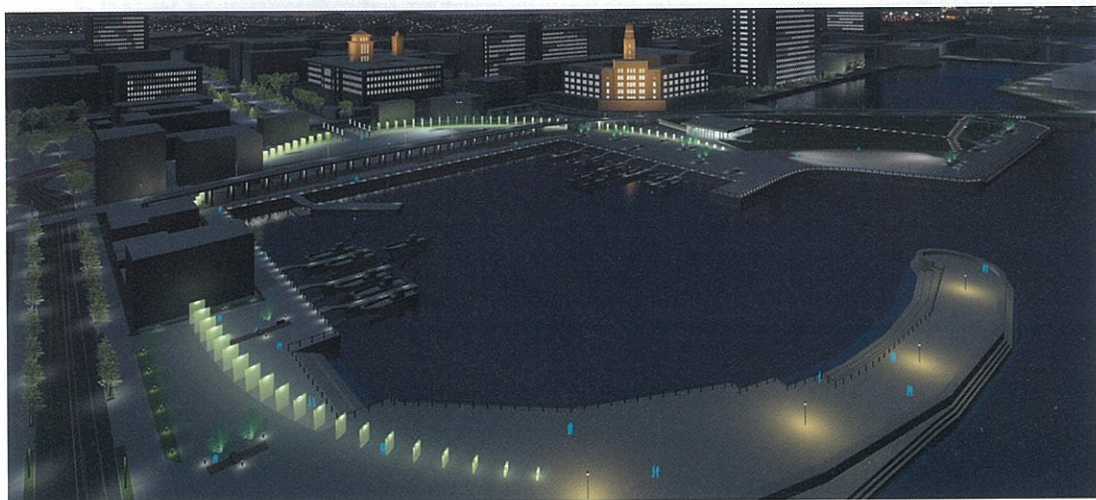


これまで蓄積されてきた横浜ならではの歴史的資産を活かしながら、新たな横浜の魅力づくりを進めていきます。みなとまちとして生まれ、発展してきた横浜の持つ個性をいっそう磨いていくため、横浜港発祥の地の再整備や文化芸術の持つ創造性を活かした都市づくりなどを進めていきます。また、次世代の横浜再発展に向け、その基盤となるようなまちづくりも同時に進めていきます。

\*

1859(安政6)年の横浜港開港にあたり東波止場と西波止場の二本の直線状の波止場が造られました。その後、1867(慶応3)年に東波止場は湾曲した形に変更され、その形状から「象の鼻」と呼ばれるようになりました。

[右図]  
象の鼻地区夜景イメージ



### 新たな顔づくり

横浜港発祥の地である象の鼻地区の整備推進により、横浜ならではの空間を演出し、新たな港の顔、市民の憩いの場、交流の場としていきます。また、文化芸術による創造性あふれるまちづくりを目指し、都心臨海部を中心として、開港都市としての歴史や文化等の資源を活かし、国際的な文化芸術・観光交流ゾーンや創造界隈の形成、映像文化産業など創造的産業の集積に向けた取り組みを進めます。

#### 象の鼻地区再整備

開港150周年を記念する事業として、横浜港発祥の地である「象の鼻地区」\*を横浜の歴史と未来をつなぐ象徴的空間として再整備するとともに、ナショナルアートパーク構想の拠点の一つとして、同地区の特徴を活かした文化観光交流拠点としても利活用を図ることができるように整備します。

[2009(平成21)年 オープン予定]



撮影：森日出夫

#### マリントワー再整備

開港100周年を記念して建設され、長年にわたり市民に広く親しまれてきたマリントワーの保存、活用を図り、開港150周年に向け横浜のシンボルとして再生します。  
[2009(平成21)年春 リニューアルオープン予定]

#### 県立新ホール整備

山下町地区において、開港150周年の2009(平成21)年に向け、賑わいの創出や文化芸術の創造発信などの観点から、「神奈川の顔としてふさわしい拠点づくり」を目指して、県立新ホールとNHK横浜新放送会館を中心とした整備が行われます。

[2009(平成21)年 完成予定]



県立新ホール完成予想図

### アメリカ山公園整備

全国初の立体都市公園制度の活用により、元町・中華街駅舎上部と隣接する公園予定地を一体的に整備することで、横浜の代表的な観光スポットである元町・山手地区の回遊性向上を図ります。

[2009(平成21)年春 完成予定]

### 横浜マリタイムミュージアム及び

### 帆船日本丸等リニューアル

横浜マリタイムミュージアム及び帆船日本丸等がある日本丸メモリアルパーク1期地区を、横浜港をテーマとした「フィールドミュージアム」と位置づけ、展示更新等を行います。[2009(平成21)年リニューアルオープン]



ナショナル  
アートパーク構想  
エリア

## 文化芸術創造都市形成

横浜で創造される先端的な文化芸術は、人々の生活を潤し、心を豊かにするとともに、オリジナリティあふれる都市の個性となって、国内外から多くの人を集め、この街を賑やかで活気あふれるものにするでしょう。開港150周年を契機として、創造性をもっと顕著に表れる文化芸術を街づくりに活かすことで、都市の魅力をさらに高めます。その刺激を受けた市民が生み出す創造的な発想や活動は、次の時代の横浜を築き上げるための大きな原動力になるはずです。

### ナショナルアートパーク構想

開港150周年を契機に横浜を象徴する港や歴史的な景観など開港都市としての資源を活かして、文化芸術など創造的な活動が活発に行われるとともに、観光交流拠点として多くの来街者が訪れる魅力的な都心臨海部を形成します。

### 創造界限

「馬車道」「日本大通り」「野毛・桜木町」の3地区を先導的地区として、歴史的建造物や倉庫、空きオフィスなどの地域資源を活用し、アーティストやクリエイターが創作・発表・滞在しやすい創造的空間を整えます。



[写真左から]  
• BankART 1929 Yokohama  
《馬車道》  
• BankART 1929 Yokohama  
《馬車道》  
• ZAIM《日本大通り》

横浜トリエンナーレ  
2005



### 横浜トリエンナーレ

文化芸術創造都市・横浜の形成に向けたリーディング事業として、日本最大規模の国際現代美術展である横浜トリエンナーレ2008を開催し、横浜の先進性や先端的な文化芸術を世界に向けて発信します。また、他の芸術文化領域による第2・第3の新たなトリエンナーレの実施に向けて検討を進めます。第2のトリエンナーレは2009(平成21)年の実施を目指し、規模・内容について検討します。

### 横浜トリエンナーレ2008

#### 会期

2008(平成20)年9月13日[土]～11月30日[日]  
79日間

#### 会場

新港ふ頭仮施設[仮称]  
横浜赤レンガ倉庫1号館  
日本郵船海岸通倉庫[BankART Studio NYK]  
その他、山下ふ頭基部や山下公園の一部

[写真左]  
東京藝術大学大学院  
映像研究科

[写真右]  
横浜オペラ未来  
プロジェクト



### 映像文化都市形成

今後成長が期待される映像・コンテンツ産業をはじめとした創造的産業を都心臨海部に集積し、様々なアーティストやクリエイターが交流することにより、特に成長の著しいアジアにおける映像コンテンツの市場を形成するなど、経済の新たな活力を生み出します。併せて、民間主催の映像イベントなどの支援を図るとともに、日中韓の3国共同による150周年記念映画[2009(平成21)年公開予定]を製作し、横浜から魅力ある映像文化を発信します。



### 創造都市形成に向けた基盤づくり

音楽・舞踊[ダンス]・演劇・美術等の新進芸術家を発掘・育成し、横浜発のアートを世界に発信するとともに、国内外の創造都市との交流や大学と連携し、文化芸術と社会をつなぐ市民やNPO等の創造の担い手を育成します。

また、各区と連携し、文化芸術と福祉や教育などの分野を結びつけた活動などにより、文化芸術が持つ創造性を活かして地域コミュニティの活性化を目指す事業を推進します。[2008(平成20)年 18区展開]



戸塚駅西口周辺地区完成予想図  
 ※この図はイメージであり、  
 今後の計画により変更になる事が  
 あります。

## まちづくり

### 新横浜駅整備

新横浜駅及び北口周辺地区では首都圏西部の玄関口にふさわしい広域的な交通拠点の形成に向け、東海道新幹線のぞみ・ひかり対応型駅舎への改良や駅ビル整備にあわせ、交通広場や駅北口の歩行者デッキの整備など駅周辺の整備を図るとともに、業務、商業、文化、スポーツ施設等の多様な都市機能の集積を促進し都心部の一層の賑わいを図ります。

[2008(平成20)年完成予定]

### 戸塚駅周辺地区の整備

戸塚駅周辺地区においては、1日27万人という市内第2位の乗降客を有する交通ターミナルにふさわしいまちづくりを目指し、道路・交通広場などの基盤整備と、区役所や文化施設などの公益施設の整備、あわせて商業機能の強化を図るため、市街地再開発事業を進めています。

- [第1次完成予定] 第一交通広場 2009(平成21)年  
商業施設 2010(平成22)年
- [第2次完成予定] 第二交通広場 2012(平成24)年  
公益施設 2012(平成24)年



市内米軍施設の一つ「旧小柴貯油施設」

### 市内米軍施設の返還と跡地利用の推進

開港150周年を契機に、市内米軍施設の返還が促進されるよう引き続き国に要請していきます。また、市民の意見等を踏まえながら、地球温暖化対策のための公園・緑地等の確保や、広域防災拠点の整備など跡地利用の具体化を進めていきます。

### 羽田空港の再国際化

2010(平成22)年の完成を目標として進められている羽田空港再拡張事業が円滑に進むよう、国や他都県市とともに取り組みます。また、再国際化後の羽田空港の国際線の就航範囲が東アジアの主要都市をカバーするよう積極的に国に対して働きかけていきます。



写真提供  
 横浜・川崎空港対策研究協議会

### 企業立地の促進

開港150周年の2009(平成21)年3月までの時限的制度である、企業立地促進条例による国内最高クラスの支援措置を効果的に活用し、企業誘致・立地等の一層の促進を図り、市民雇用の増大など横浜経済の活性につなげていきます。